

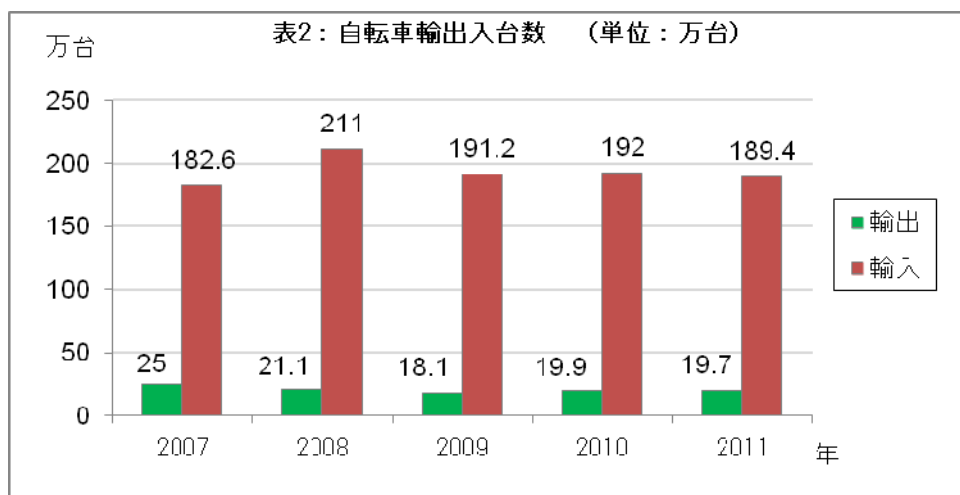
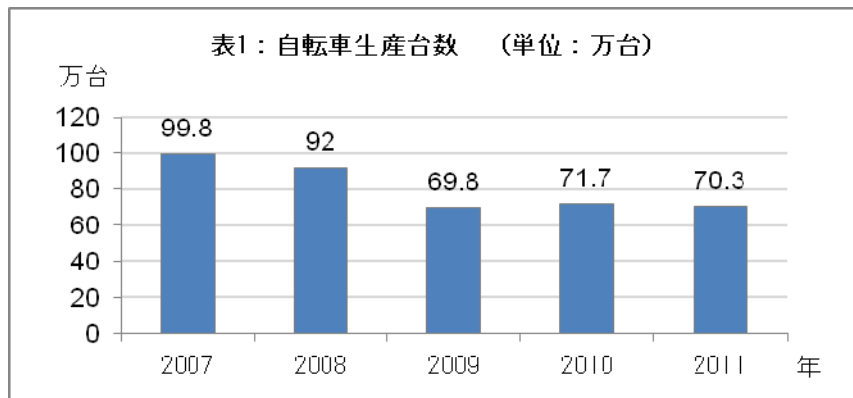
平成24年6月6日

財団法人自転車産業振興協会  
国際業務部

## フランス自転車市況－2011

### 1. 生産、輸出入

フランス自転車製造・流通業者評議会(CNPC/Tous a Velo!)によると、2011年フランスの自転車の国内生産台数は前年比2%減の70.3万台となった。再輸出した輸入品を除く実質的な輸出台数は前年比1%減の19.7万台、輸入台数は前年比1.4%減の189.4万台となり、生産、輸出入いずれも僅かながら昨年より減少する結果となった。



※サドルの地上最低高 435 ミリ以上の完成車のみ、玩具自転車は含まない

## 2. 平均販売価格

2011年の自転車の国内販売台数は前年比5.5%増の319.7万台、販売金額は前年比6.5%増の846.3百万ユーロ(84,600百万円)となり、2010年より一転して販売台数、販売金額は共に増加した。

部品、付属品の販売については、全業態で販売金額は前年比3.0%増の500.7百万ユーロ(50,700百万円)となり自転車販売と同様に復調した。項目別の販売金額シェアでは、フレームが前年より1ポイント減の3.5%、部品が3.5ポイント増の48%、付属品は前年より2.5ポイント減の27.5%及びその他サイクリング用品は前年同の21%であった。

2011年販売金額の回復を受け、自転車の平均販売価格は前年より3ユーロ(300円)増の265ユーロ(26,500円)となった。ここ数年、フランスの国内自転車市場は販売低迷が続いたが2011年はようやく反転した。ドイツやオランダのように電動アシスト自転車(EPAC)が市場のけん引役ではないが、比較的高額なスポーツ車やシティ車が堅調であったこと、新たに折り畳み車の人気が高まったこと等が価格上昇の主な要因とCNPC/Tous a Velo!ではみている。なお、この平均販売価格には50ユーロ(5,000円)未満の玩具自転車(トイ・サイクル)も含まれている。

表3: 平均販売価格 (単位:ユーロ)

年	2007	2008	2009	2010	2011
平均販売価格	248	262	261	262	265

## 3. 車種別販売動向

2011年は全車種において販売台数は前年より増加しているが、その中でもMTB(20~24インチ)は前年比5.3%増の62万台、子供車は前年比9.4%増の70万台となり、子供向けの車種の増加率の高さが目立った。また、MTBは前年比4.4%増の86.8万台、ロードバイクは前年比5.6%増の17.6万台となる等、もともと人気の高いスポーツ車も堅調である。

表4: 車種別国内販売台数 (単位:千台)

車種	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
MTB	1,047.2	986.6	843.8	831.8	868
MTB(20~24インチ)	620.1	577.5	629.8	588.5	619.8
子供車	811.8	791.9	682	640.4	700.3
トレッキング車	493.9	510.3	448.9	412.5	416.7
ロードバイク	199.4	187.2	160.9	166.3	175.6
シティ車	232.5	235.6	243.3	275.5	285.6
BMX	122.7	128	123.6	116.3	131.2
国内販売台数計	3,527.6	3,417.1	3,132.3	3,031.3	3,197.2

※国内販売台数には、サドル地上最低高435mm以下の完成車及び玩具自転車を含む

※シティ車には折りたたみ車と電動アシスト自転車が含まれる

車種別の平均価格では、子供車以外のすべての車種が前年より上昇した。ロードバイクが前年より9ユーロ(900円)増の1,197ユーロ(119,700円)と最高額であることに変わりはない。更に2011年は、シティ車が前年より28ユーロ(2,800円)増の285ユーロ(28,500円)、BMXは21ユーロ(2,100円)増の200ユーロ(20,000円)となり、これらの車種の平均価格の上昇が特に目立った。

シティ車28.6万台には、折り畳み車の2011年販売台数2.6万台が含まれており、同車種の業態別販売シェアは、大型スポーツ店が7割を占め、自転車小売専門店が2割、量販が1割となっている。また、ロードバイクの販売シェアは、自転車小売専門店が8割と大半を占め、大型スポーツ店は2割に満たない。

最多販売台数のMTBについては、更に価格が450ユーロ(45,000円)以上の中・高価格帯と450ユーロ(45,000円)未満の低価格帯に2分すると、中・高価格帯MTBの販売台数は16.9万台、低価格帯MTBは69.9万台となり、MTB販売数の8割を低価格帯MTBが占めている。低価格帯MTBの販売シェアは大型スポーツ店が6割、量販が3割弱であるが、自転車小売専門店は僅か1割程のシェアしかない。しかし、中・高価格帯MTBでは、大型スポーツ店の販売シェアは47%、自転車小売専門店は54%と両者のシェアは拮抗している。

#### 4. 業態別販売動向

販売業態別シェアでは、大型販売店・大型スポーツ店(Decathlon、Go Sport等)は販売台数ベースでは前年より1ポイントシェアが増加したものの、販売金額ベースのシェアは1.5ポイント減少した。自転車小売専門店の販売台数シェアは前年より1ポイント減少したが、販売金額シェアは2ポイント増加しており、自転車小売専門店は比較的に高額商品の扱いが多いためか販売金額ベースではシェアが復調傾向にある。なお、スーパーマーケット等の量販は販売台数では前年同様のシェアを維持したものの、販売金額ではシェアを僅かだが再び減らしている。

表5: 販売業態別シェア(販売台数ベース)

販売形態	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
大型販売店、大型スポーツ店	50.0%	50.5%	52.5%	51.0%	52.0%
自転車小売専門店	23.5%	24.5%	22.0%	24.0%	23.0%
スーパーマーケット、他	26.5%	25.0%	25.5%	25.0%	25.0%

表6: 販売業態別シェア(販売金額ベース)

販売形態	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
大型販売店、大型スポーツ店	38.0%	37.5%	41.5%	38.5%	37.0%
自転車小売専門店	52.0%	53.5%	48.5%	51.5%	53.5%
スーパーマーケット、他	10.0%	9.0%	10.0%	10.0%	9.5%

2011年業態別の自転車販売台数では、大型販売店、大型スポーツ店は前年比7.8%増の166.7万台と数値を伸ばし、自転車小売専門店も同比3.8%増の75.1万台と堅調であった。

なお、自転車小売専門店は独立系店舗とフランチャイズ・チェーン(FC)系店舗に分けられ、独立系店舗の販売台数は前年比1.1%増の38.7万台にとどまったが、FC系店舗は同比6.7%増の36.5万台となり、特にFC系店舗の好調ぶりが伺える。

業態別の販売金額では、大型スポーツ店は前年比9.3%増と前年の大幅な減少から回復した。自転車小売専門店は同比5.6%増となり、そのうち独立系店舗は同比4.1%増、FC系店舗は同比7.0%増となり、販売台数と同様に金額面でもFC系店舗の増加が目立った。

業態別の完成車平均価格では、大型スポーツ店は前年より2ユーロ(200円)増加の189ユーロ(18,900円)と僅かながら増加した。自転車小売専門店は前年よりも販売台数と販売金額が増えたことにより、平均価格は前年より10ユーロ(1,000円)も増え602ユーロ(60,200円)となった。そのうち独立系店舗は前年より17ユーロ(1,700円)増の576ユーロ(57,600円)、FC系店舗は前年より2ユーロ(200円)増の630ユーロ(63,000円)となり、販売台数や金額の場合とは違い、平均価格では独立系がFC系よりも高い上昇率を見せた。依然として高額商品を扱う自転車小売専門店と大型スポーツ店の平均価格の差は開いたままである。

スーパーマーケット等の量販については、販売台数は前年比2.3%増の77.9万台、販売金額は前年比1.9%増と、台数、金額共に前年より増えたにもかかわらず、平均価格は101ユーロ(10,100円)となり前年より僅か1ユーロ(100円)であるが減少した。

表 7: 2011 年業態別売上台数・金額

販売形態	販売台数(台)	販売金額(千ユーロ)	完成車平均価格
大型販売店、大型スポーツ店	1,667,400	315,100	€ 189
自転車小売専門店	751,200	452,200	€ 602
[独立系店舗]	[386,600]	[222,500]	[€576]
[フランチャイズ系店舗]	[364,600]	[229,700]	[€630]
スーパーマーケット、他	778,600	79,000	€ 101
合計	3,197,200	846,300	€ 265

## 5. 電動アシスト自転車

2010年までは年々増加していた電動アシスト自転車(EPAC)の販売台数については、2011年は前年比2.6%減の37,000台と僅かに減少した。業態別販売シェアでは、大型スポーツ店が前年より5.5ポイント増の17.5%、自転車小売専門店が前年より7.5ポイント増の64.5%で最大のシェアを占めている。そのうち独立系店舗が前年より5ポイント増の31%、FC系店舗は2.5ポイント増の33.5%と、特に独立系の増加が目立った。また、量販店は前年より13ポイント減の18%となり、急激にシェアが減少している。

表 8: 電動アシスト自転車販売台数 (単位:台)

年	2007	2008	2009	2010	2011
販売台数	9,700	15,300	23,700	38,000	37,000

2012年のフランス自転車市場についてCNPC/Tous a Velo!では今のところ見通しは不透明としている。同国ではドイツやオランダのようにEPACブームによる販売増が国内の自転車

市場全体を支える構造ではないが、近年、従来から利用頻度の高いレジャー用途に加え、移動手段として自転車を利用する人々も増えているとされる。根強い人気を保つ高額スポーツ車とともに、今後はシティ車や折り畳み車等の新たに付加価値を見込める移動用自転車の更なる普及にも期待している。

以 上

統計出所： フランス自転車製造・流通業者評議会 (CNPC/Tous a Velo!)